

この取扱説明書をよく読んでご使用ください。取扱説明書は大切に保管して下さい。
本器は理化学機器です。一般の方はご使用できません。本器は水専用のバスです。オイルは絶対に使用しないでください。バイメタルを利用して恒温しています。バス内の温度が均一になるよう、マグネチックスターラー等でかきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。攪拌装置は内蔵していません。空焚き防止装置も内蔵していません。電源スイッチは左側面にあります。保管時は電源コードを抜いてください。

水の蒸発が早いので、空焚きにならないよう監視下でご使用ください。

仕 様

バス	SUS304, 内寸φ210×H130mm
ヒーター	AC100V,750W,銅ニッケルメッキ製
温度調整方式	サーモスタット温度調節器, ダイヤル設定
使用温度範囲	常温+5℃～95℃
電源	AC100V,50/60Hz,8A,三芯接地プラグ付電源コード
使用環境	温度 5～35℃ 湿度 80%
外形寸法・重量	W220×D271×H135mm・1.4kg

安全のための注意事項

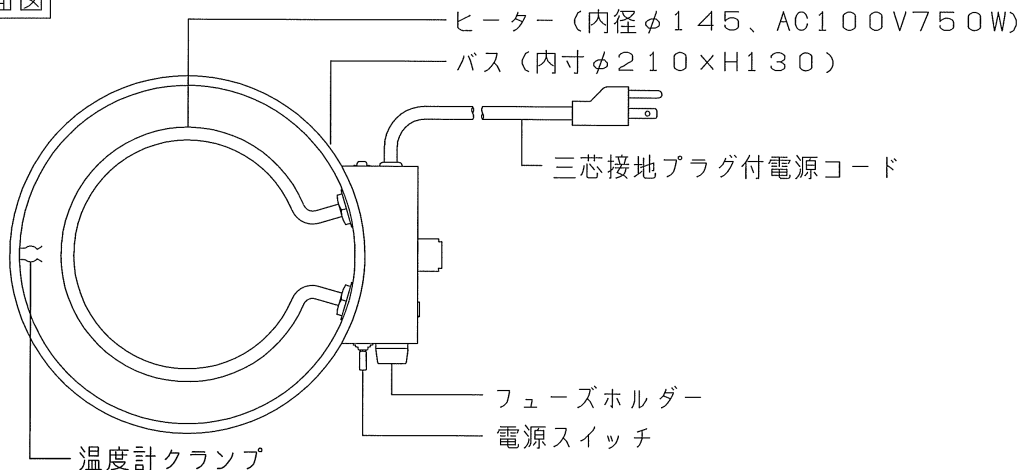
- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。
- 電源は AC100V,8A 以上取れる三芯接地付コンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合も、必ずアースを接続してください。
- 接地アダプターの使用はプラグの緩み等による過電流で火災等、事故の原因になる場合がありますのでお避けください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。過熱、火災の原因になります。
- 水平に設置し、周囲に 20cm 以上の間隔を空けてください。周辺の機器に水蒸気の影響がでない場所で使用してください。
- 空焚きをしないよう最低 70%水を入れて使用してください。(底から 90mm)
空焚き防止装置はついていませんので、無人で使用はできません。
- 本器は水専用です。オイルは絶対に使用しないでください。
- ヒーターは必ず水没している状態で使用してください。空焚きをするとヒーターは異常発熱し、火傷や火災の原因になります。
- 火傷します。ヒーターに直接手を触れたり、バスの縁に触らないでください。
- 電装部に水がかからないようにしてください。腐食、電気系統の故障、特に漏電の原因となります。
- スターラーで攪拌しながら使用するとき、バスの底に直接回転子がふれると穴があく可能性があります。底面に直接回転子がふれないようステンレスの板やガラス板で保護してください。
- 使用環境範囲を越えて使用しますと、動作不良、故障の原因となります。
- 実験終了後必ず電源コードを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、元電源を抜いてください。
- 装置を分解・改造しないでください。感電、漏電、異常動作、火災等、事故の原因になります。

使用方法

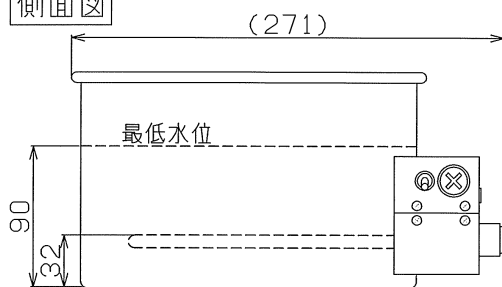
1. 電源コードを差込む前に：
 - (1)バスに水を最低 70%入れます。(底から 90mm)
 - (2)温度調整つまみの指示が最低温度の位置にあることを確認します。
 - (3)必要に応じて温度計クランプにお手持ちの温度計を差し込みます。
2. 電源コードを三芯接地付コンセントに差込みます。
3. 電源スイッチを（左側面）を入力し、ヒーターランプの点灯を確認します。
4. 温度調整つまみで温度の設定をします。ヒーターに通電されている間ヒーターランプが点灯し、設定温度に達するとランプは点滅します。
5. 温度目盛は目安ですから、温度計に合わせて再度温度設定を行ってください。
6. 使用后必ず電源スイッチを切り、電源コードを抜いて保管してください。
温度調節つまみは電源スイッチではありません。電源スイッチを切らないと設定温度によって通電することがあります。
7. 攪拌装置は内蔵していませんので、バス内の温度が均一になるよう、スターラー等でかきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。
8. 冬期、水温の低い時は、最初に希望温度に近いお湯を入れると、効率よく実験ができます。

機能説明図

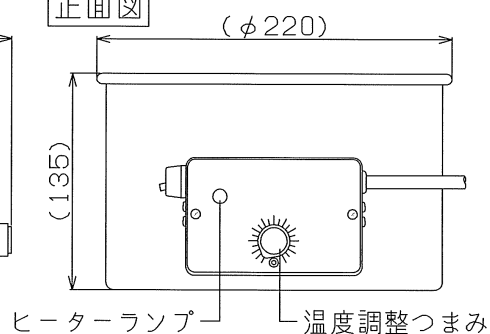
上面図



側面図



正面図



保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合、直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください。
この際、製造番号をお知らせください。